

1. 活動報告

1) 総合科目 (14年5月)

▽春学期 AB 月曜 1 時限

第4回 5月12日

講義題目『iPS細胞の実用化に向けて』

講義担当者：西村健 (医学医療系)

第5回 5月19日

講義題目『家畜とヒトの暮らし』

講義担当者：浅野敦之 (生命環境系)

第6回 5月26日

講義題目『生物の環境応答』

講義担当者：櫻井啓輔 (生命環境系)

2) セミナー (14年5月)

▽若手セミナー

第26回

演者：Professor. Baoyu Gao

(School of Environmental Science and Engineering,
Shandong University, China, Professor)演題：『Coagulation behaviors of nano-Al13 and its effect on
membrane foulings and mechanisms in
coagulation/ultrafiltration hybrid process.』

日時：2014年5月15日(木) 16:30~17:30

会場：筑波大学第2エリア 2D303

世話人：山下祐司

3) 外部資金獲得状況 (14年5月)

松坂賢 (代表)

<公益財団法人日本応用酵素協会 平成26年度酵素研究助成>

「糖尿病の発症・進展における脂肪酸伸長酵素 Elovl6 の役割
(H26.5-H27.4)

4) 業績 (14年5月)

<原著論文>

Nie T, **Matsuzaka T***, Suzuki M, Nakano Y, Hui Z, Yokoo T,
Suzuki-Kemuriyama N, Kuba M, Okajima Y, Takeuchi Y, Kobayashi K,Iwasaki H, Yatoh S, Takahashi A, Suzuki H, Sone H, Shimada M,
Nakagawa Y, Yahagi N, Yamada N, Shimano H. (*Corresponding author)
"Ablation of Elovl6 protects pancreatic islets from high-fat diet-induced
impairment of insulin secretion"*Biochem Biophys Res Commun.* in press. (2014)**Neves, M. A.**, Kobayashi, I., Nakajima, M."Scaling-up Microchannel Emulsification Foreseeing Novel Bioactives
Delivery Systems."*American Society of Mechanical Engineering, ASME Proceedings.**Biomedical and Lab-on-a-Chip, ICNMM2013-73116*, pp. V001T10A004; 7
pages. DOI: 10.1115/ICNMM2013-73116 (June 2013).Kozu, H., Kobayashi, I., **Neves, M. A.**, Nakajima, M., Uemura, K., Sato, S.,
Ichikawa, S."PIV and CFD studies on analyzing intragastric flow phenomena induced
by peristalsis using a human gastric flow simulator"*Food & Function.* Accepted (May 10, 2014).

Hisashi Murakami, Takenori Tomaru, Yuta Nishiyama, Toru

Moriyama, **Takavuki Niizato**, Yukio-Pegio Gunji.

"Emergent Runaway into an Avoidance Area in a Swarm of Soldier Crabs."

PLOS ONE. DOI: 10.1371/journal.pone.0097870 (2014).

<総説等>

千葉崇・澤井祐紀 (藤野研究室研究員)『環境指標種群の再検討と更新』 *Diatom* Vol. 30 p.17-30 (2014).**千葉崇** (藤野研究室研究員)『珪藻タフオノミーと珪藻化石群集による古沿岸環境復元を行う上
での問題点』 *Diatom* Vol. 30 p. 86-103 (2014).

<学会発表・招待講演>

池端慶, 田村知也

日本地球惑星科学連合 連合大会 2014 年大会

演題：『小笠原・硫黄島の旧噴火口で2012-2013年に発生した爆発
現象に伴う噴出物の岩石学的特徴』(口頭発表)

日時：2014年5月1日

場所：パシフィコ横浜

川田清和・Abderrazak Smaoui・磯田博子

日本沙漠学会第25回大会

演題：『チュニジア中部におけるローズマリーの過伐採による周
辺環境の変化』(ポスター発表)

日時：2014年5月31日

場所：東京都市大学横浜キャンパス

胡曉星・上條隆志・烏云娜・川田清和

日本沙漠学会第25回大会

演題：『内モンゴル新バルク右旗における草原の種組成の年変動と放牧圧の関係』（ポスター発表）

日時：2014年5月31日

場所：東京都市大学横浜キャンパス

篠崎鉄哉・藤野滋弘・池原実・澤井祐紀・田村享・後藤和久・菅原大助・阿部朋弥

地球惑星科学連合大会2014年大会

演題：『2011年東北沖津波により陸上に堆積した海洋生物起源バイオマーカー』（口頭発表）

日時：2014年5月2日

場所：パシフィコ横浜

千葉 崇・藤野 滋弘・小堀 詠美

地球惑星科学連合大会2014年大会

演題：『珪藻化石群集から推定された徳島県田井ノ浜における過去4000年間の古沿岸環境変化と地殻変動』（ポスター発表）

日時：2014年5月2日

場所：パシフィコ横浜

Okamoto Y., **Kon K.**, Watanabe K., Yoshikawa T., Salaenoi J., and

Ishikawa S.

Seminar on environmental studies in Bandon Bay, Surat Thani, Thailand.

演題：『Spatial-temporal food web structure of bivalves aquaculture in Bandon bay, Southern Thailand, using carbon and nitrogen stable isotope analysis.』（口頭発表）

日時：2014年5月18日

場所：東海大学 清水キャンパス

Arimoto T., Khrueniam U., Yoshikawa T., **Kon K.**, Okamoto Y., Ishikawa S., Phuttharaksa K., Munprasit R., Manajit N., Amompiyacrit T., Yingyuad W., and Munprasit A.

ICES-FAO Working Group on Fishing Technology and Fish Behaviour.

演題：『Mean trophic level analysis as indicator for balanced harvesting - Cast study on Japanese-type set-net, in Thailand.』（口頭発表）

日時：2014年5月4日～10日

場所：Massachusetts, USA.

源川拓磨、森下美咲、石川大太郎、トファエルアハメド、野口良造、

瀧川具弘、村山広大、杉野弘幸、小宮山誠、尾崎幸洋

農業食料工学会第73回（2014年度）年次大会

演題：『近赤外分光法を用いたプレミックス粉の混合モニタリングと混合挙動の解析』（口頭発表）

日時：2014年5月16日～19日

場所：琉球大学（那覇）

Takuma Genkawa, Hideaki Kato, Ami Tsukamoto, Miho Hatanaka, Mika Takeshima, Ahamed Tofael, Ryozi Noguchi and Tomohiro Takigawa
The 7th International Symposium on Machinery and Mechatronics for Agriculture and Biosystems Engineering (ISMAB)

演題：『A Simple and Safe Determination of Free Fatty Acids in Brown Rice using Mid-Infrared Spectroscopy』（ポスター発表）

日時：2014年5月21日～23日

場所：Yilan, Taiwan

源川拓磨、森下美咲、石川大太郎、トファエルアハメド、野口良造、

瀧川具弘、村山広大、杉野弘幸、小宮山誠、尾崎幸洋

粉体工学会2014年春期研究発表会

演題：『近赤外分光法による混合粉体のオンライン計測』
＜研究助成講演＞

日時：2014年5月29日～30日

場所：メルバルク京都（京都）

松坂賢、中野雄太、趙会、唐寧、鈴木真璃衣、中川嘉、嶋田昌子、武内謙憲、岩崎仁、小林和人、高橋昭光、矢藤繁、矢作直也、鈴木浩明、山田信博、島野仁

第57回日本糖尿病学会年次学術集会

演題：『脂肪酸伸長酵素 Elovl6 の欠損は db/db マウスの糖尿病の発症・進展を抑制する』（口頭発表）

日時：2014年5月22日

場所：大阪国際会議場

大野博、**松坂賢**、唐ネ、中川嘉、嶋田昌子、岩崎仁、小林和人、高橋昭光、矢藤繁、矢作直也、鈴木浩明、山田信博、島野仁

第57回日本糖尿病学会年次学術集会

演題：『脂質合成制御転写因子 SREBP-1a トランスジェニックマウスの脂肪萎縮機序とそのエネルギー代謝におよぼす影響』（口頭発表）

日時：2014年5月23日

場所：大阪国際会議場

新里高行 村上久 郡司ペギオ幸夫

2014年度人工知能学会全国大会

演題：『群れの運動の内在的な切り替え』（口頭発表）

日時：2014年5月13日

場所：ひめぎんホール（愛媛県松山市）

Takavuki Niizato.

TOWARD A SCIENCE OF CONSCIOUSNESS 2014

演題：『Dynamical Identity of Self as the Concept System on Category Theory』（ポスター発表）

日時：2014年4月25日

場所：Tucson, Arizona-USA

5) 記事掲載

藤野滋弘

藤野滋弘助教（生命環境系）らの研究チームの成果が、4月30日付の毎日新聞に掲載されました。（以下、掲載記事本文を引用）

【津波：海洋生物が示す痕跡・筑波大など調査手法開発】
過去の津波による浸水範囲を調べる上で、プランクトンなど海洋生物に由来する有機物が有効な指標になることを発見したと、筑波大や高知大などの研究チームが5月2日、横浜市で開催中の日本地球惑星科学連合大会で発表する。これまで分からなかった大津波の痕跡調査に応用できると期待される。

（本文参照：<http://mainichi.jp/select/news/20140430k0000e040177000c.html>）

2. スケジュール

<14年6月>

2日(月)

総合科目 第7回

講義題目『むしの贈り物』

講義担当者：横井智之(生命環境系)

5日(火) 12:15~

テニュアトラック普及・定着事業推進委員会及び定例会

総合研究棟D 115会議室

9日(月)

総合科目 第8回

講義題目『群れの科学・からだの起源』

講義担当者：新里高行(システム情報系)

16日(月)

総合科目 第9回

講義題目『コミュニケーションする脳』

講義担当者：川崎真弘(システム情報系)

23日(月)

総合科目 第10回

講義題目『対称性の科学(英語)』

講義担当者：Scott Camahan(数理物質系)

27日(金)・28日(土)

2014年若手フェスティバル in 下田

筑波大学下田臨海実験センター

30日(月)

総合科目 第11回

講義題目『フォローアップセミナー』

講義担当者：谷口智之(生命環境系)

テニュアトラック普及・定着事業 News Letter vol.29

[平成26年6月号]

編集・発行：若手研究者運営調整部会

*当ニュース・レターは、毎月1回第1木曜日に配信いたします。

連絡先：テニュアトラック支援室